



2018年7月20日

報道関係各位

日本製薬工業協会

「APEC ビジネス・エシックス・フォーラム(東京会議)」開催について

日本製薬工業協会は、上位団体である日本製薬団体連合会と一般社団法人 日本医療機器産業連合会が参画する「APEC ビジネス・エシックス・フォーラム(東京会議)」の開催について、別紙のとおりその概要を入手しましたのでお知らせいたします。

以上

<別紙>

一般社団法人日本医療機器産業連合会  
日本製薬団体連合会

**患者さんを最優先する：  
患者団体、医療関係団体、製薬・医療機器団体、厚生労働省が  
利害関係者間の倫理的な連携のために署名**

— 2018 APEC ビジネス・エシックス・フォーラム(東京会議) —

2018年7月18日～20日、東京アメリカンクラブにおいて「2018 APEC ビジネス・エシックス・フォーラム(東京会議)」が3日間に亘り開催され、最終日の7月20日には日本の患者団体、医療関係団体、製薬業界団体、医療機器業界団体、厚生労働省が参画する「日本における倫理的連携のためのコンセンサス・フレームワーク」への署名が行われました。日本国内で医療に関わる幅広いステークホルダーが共通の倫理原則に合意するのは初めてのこととなります。

近年ますます高度化・複雑化する医療の中、質の高い治療を患者に提供するためには、医療に関わるステークホルダーである、患者団体、医療関係者、企業、行政の間の協力関係がますます重要になってきています。この協力関係を持続可能なものとするためには、患者利益を最優先した意思決定が行われていることの透明性、中立性、信頼が不可欠です。「日本における倫理的連携のためのコンセンサス・フレームワーク」は患者利益の最大化を目的に、「患者さんを最優先とする」、「倫理的な研究と技術の革新を支持する」、「中立性と倫理的な行動を保証する」、「透明性の確保と説明責任を推進する」の4つの原則を中心に構成された文書です。

調印式には全国がん患者団体連合会、日本難病・疾病団体協議会、日本看護協会、日本医師会、日本薬剤師会、日本製薬団体連合会、日本医療機器産業連合会、厚生労働省の8団体が署名に参加し、各団体の挨拶が行われました。(署名者・登壇者については別紙をご参照ください。)

**APEC ビジネス・エシックス・フォーラムについて**

APEC ビジネス・エシックス・フォーラムはAPECが策定した倫理原則を普及させるために、APEC各国の患者団体・医療関係者・製薬団体関係者・医療機器団体関係者・行政関係者・企業が一堂に集まり開催されている会合です。本年は2018年7月18日～20日に東京で開催されました。(別添のプログラム、フォーラムの概要をご参照ください。)

## APEC の倫理原則について

APEC の倫理原則は、バイオ医薬品セクターの倫理原則(メキシコシティ原則)と医療機器セクターの倫理原則(クアラルンプール原則)からなり、患者さんを最優先するための企業と医療関係者の適切な交流について規定されています。これらの倫理原則は APEC 加盟 21 エコノミーによって承認された自主的な規範です。企業だけが遵守するのではなく、医療関係者や行政と協力して共通理解のもと普及することを目指しています。

医薬品セクターに適用されるメキシコシティ原則には、医療関係者との交流、プロモーション活動、娯楽やギフトの制限、サンプル、コンサルタントや講演等の業務委託、寄附、患者団体との交流等の主な項目が規定されており、関係するステークホルダーである製薬企業、医療関係者、行政の役割についても記載されています。

APEC とは、Asia-Pacific Economic Cooperation の略称で、アジア太平洋経済協力会議の意味になります。

## 2018 APEC ビジネス・エシックス・フォーラム(東京会議)の概要

7月19日(木)

- 「スポットライト・オン・ジャパン」 (バイオ医薬品セクター)
  - ① 基調講演  
日本製薬団体連合会会長(IFPMA 副会長) 手代木 功
  
  - ② パネル・ディスカッション  
一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事 桜井 なおみ  
公益社団法人 日本医学会 利益相反委員会 委員長 曾根 三郎  
厚生労働省大臣官房審議官 椎葉 茂樹  
日本製薬工業協会 常務理事 田中 徳雄

7月20日(金)

- 日本におけるコンセンサス・フレームワーク調印式
  - ① 署名者  
一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会 代表理事 森 幸子  
一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長 天野 慎介  
公益社団法人 日本看護協会 常任理事 川本 利恵子  
日本製薬団体連合会 理事長 宮島 俊彦  
一般社団法人 日本医療機器産業連合会 副会長 松本 謙一  
公益社団法人 日本薬剤師会会長 山本 信夫  
公益社団法人 日本医師会会長(世界医師会会長) 横倉 義武  
厚生労働省 厚生労働省 医政局長 武田 俊彦
  - ② ご挨拶  
日本におけるコンセンサス・フレームワーク調印の持つ意義や期待等について以下の代表者よりご挨拶賜りました。
    1. 患者団体代表:  
一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長 天野 慎介  
一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会 代表理事 森 幸子
    2. 医療関係者代表:  
公益社団法人 日本医師会会長(世界医師会会長) 横倉 義武
    3. 政府機関代表:  
厚生労働省 医政局長 武田 俊彦

<参考資料>

<参考-1>

2018 APEC ビジネス・エシックス・フォーラム(東京会議)プログラム

<参考-2>

日本における倫理的連携のためのコンセンサス・フレームワーク

<参考-3>

バイオ医薬品セクターの自主的なビジネス倫理規定「メキシコシティ原則」

<参考-4>

医療機器セクターの自主的なビジネス倫理規定「クアラルンプール原則」

－本件に関する問い合わせ先－

日本医療機器産業連合会 松田 幸夫、宇野 彰 TEL 03-5225-6234

日本製薬団体連合会 黒川 康幸 TEL 03-3270-0581